

島の記憶と、
未来が
対話する場所へ。

浜比嘉島

うるま

シマダカラ 芸術祭

2019

11.1 (Fri) — 10 (Sun)

10:00 — 17:00

※時間外に行う企画もあります

うるま市島しょ地域

メイン会場：浜比嘉島旧浜中学校（沖縄県うるま市勝連浜19）

集落展示：伊計島伊計区内、宮城島宮城区内

料金：1日券1名500円（高校生以下無料）※体験など別料金メニューあり

問い合わせ 一般社団法人うるま市観光物産協会 担当：伊波 TEL: 098-978-0077 Mail: info@uruma-ru.jp



uruma.shimadakara.jp

[uruma.shimadakara.art](https://www.facebook.com/uruma.shimadakara.art) [uruma.shimadakara](https://www.instagram.com/uruma.shimadakara)

島の記憶と、 未来が対話する場所へ。

2012年から2017年まで開催された「イチハナリアートプロジェクト」は、うるま市の5つの島々を舞台に、多くの人々がアートに親しむ機会をつくりだしてきました。その後、島人や作家を中心に、島で行うアートプロジェクトのあり方を考える対話を重ね、イチハナリアートプロジェクトは「うるまシマダカラ芸術祭」に生まれ変わりました。

「シマダカラ」には「それぞれの島に存在する人、文化、自然などはシマ(島)のタカラ(宝)である」という意味と、「シマダカラ(島だから)できる芸術祭をめざす」という2つの意味があります。

島という資源の少ない環境で「手元にあるモノを活かして暮らしを紡いできた創造力」。外から来た異質な存在である「マレビトを取り入れてきたダイナミズム」。現代アート、デザイン、食、工芸など約30組の作家たちが島に通いながら、島人と共に多彩な作品を生みだします。

沖縄のうるまの島だからこそできる芸術祭があります。

参加アーティスト(予定)

アート・デザイン Ayako | KANNA | 児玉美咲 | サツト | 田淵将也 | デコールデザイン | DENPA | Doucatty | 豊永盛人 | 日々のレシピ | 平岡昌也 | 宮里繁 | ヤンバルジャクソン | U-KO | LitteratiJapan 工芸 系数弓子 | 川初 真 | 越来造船三代目船大工棟梁 越来治喜 | 知花幸修 | とんぼ玉工房 緑の風 | 比嘉由加子 | 渡辺智子 写真・映像 アラカキヒロミツ | ADULT CHILDREN OF OKINAWA | 沖縄アーカイブ研究所 | 武安弘毅 | Minotan | 食・建築・その他 ウスデークのタペ | 岡戸大和 / 星屑工務店 | CAMPO | パシャパ舎 | まちなか工作所bodo | やんばる畑人プロジェクト |

現代アートに加え、デザイン、食、工芸などの約30組の多彩な作家たちが、
沖縄の原風景が残る5つの島の島人と共につくりあげる芸術祭です。

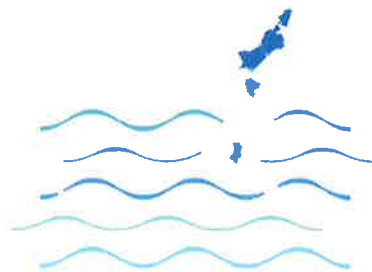


メイン会場: 浜比嘉島旧浜中学校まで

- ・ 那覇空港から車で約1時間20分※近隣駐車場あり
- ・ 海中道路入口から約10分
- ・ 路線バス: 伊計屋慶名線「浜漁港前」下車徒歩3分

浜比嘉島旧浜中学校から各展示エリアまで

- ・ 伊計エリアまで車で約20分、宮城エリアまで車で約15分
- ※各エリアとも駐車場約20台分あり
- ・ 路線バス: 伊計屋慶名線「伊計共同売店前」まで約30分



うるま シマダカラ 芸術祭

2019
11.1 (Fri)

— 10 (Sun)

10:00 — 17:00

※時間外に行う企画もあります

■メイン会場: 浜比嘉島旧浜中学校
(沖縄県うるま市勝連浜19)

■集落展示:
伊計島伊計区内、宮城島宮城区内

主催: うるま市、島アートプロジェクト実行委員会
共催: 琉球新報社
後援: うるま市議会、うるま市教育委員会、うるま市文化協会、うるま市商工会
協力: 伊計自治会、池味自治会、上原自治会、津堅自治会、桃原自治会、浜自治会、比嘉自治会、平安座自治会、宮城自治会 (※五十音順)
事務局: うるま市観光物産協会

お問い合わせ うるま市観光物産協会

担当: 伊波
電話: 098-978-0077
メール: info@Uruma-ru.jp

